

1 幼稚園

園児数 5,228 人で減少

3歳児入園者の割合は上昇 幼稚園就園率は変化なし

表1 幼稚園の推移

(単位：園、学級、人、%)

年度	A		B		C		D		1学級当たり		本務教員1人当たり		女子教員の占める割合
	園数	学級数	園児数	対前年度増減率	教員数(本務者)	対前年度増減率	園児数C/B	対前年度増減数	園児数C/D	対前年度増減数	割合		
平成22	94	467	7,660	△2.1	664	△1.9	16.4	0.1	11.5	△0.1	93.8		
23	93	466	7,411	△3.3	638	△3.9	15.9	△0.5	11.6	0.1	94.4		
24	92	455	7,229	△2.5	647	1.4	15.9	0.0	11.2	△0.4	94.3		
25	89	429	6,891	△4.7	615	△4.9	16.1	0.2	11.2	0.0	94.5		
26	86	425	6,605	△4.2	601	△2.3	15.5	△0.6	11.0	△0.2	93.8		
27	74	342	5,228	△20.8	514	△14.5	15.3	△0.2	10.2	△0.8	94.6		
国立	1	5	99	△1.0	7	0.0	19.8	△0.2	14.1	△0.2	100.0		
公立	29	104	1,277	△8.1	130	1.6	12.3	△0.1	9.8	△1.1	100.0		
私立	44	233	3,852	△24.7	377	△19.1	16.5	△0.1	10.2	△0.8	92.6		

(1) 幼稚園数

幼稚園数 74 園で、前年度より 12 園減少（廃園 12 園）しており、このうち休園中の幼稚園は 2 園（私立 2 園）であった。

設置者別にみると、国立が 1 園、公立が 29 園、私立が 44 園となっている。

(表 1、統計表 2、4、5)

(2) 学級数

学級数は 342 学級（国立 5 学級、公立 104 学級、私立 233 学級）で、前年度より 83 学級減少している。

収容人員別にみると、「1～15 人学級」が 140 学級で最も多く、次いで「16～20 人学級」が 80 学級、「21～25 人学級」が 62 学級などとなっている。

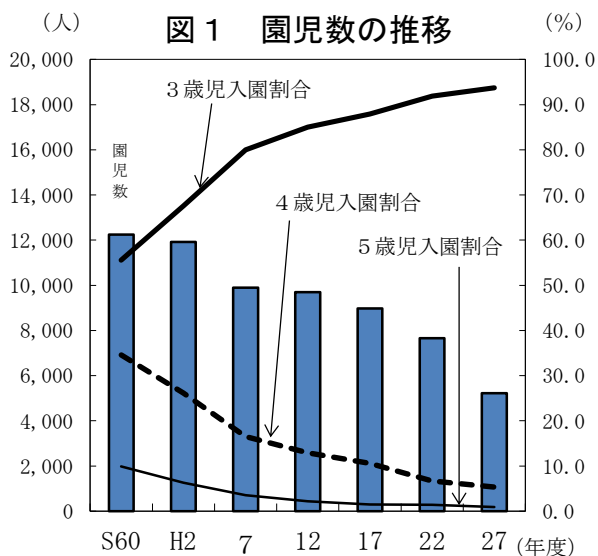
(表 1、統計表 7、8)

(3) 園児数

園児数は 5,228 人で、前年度より 1,377 人（20.8%）減少している。

男女別にみると、男子が 2,613 人で、前年度より 695 人（21.0%）減少し、女子が 2,615 人で、前年度より 682 人（20.7%）減少している。

設置者別では、国立が 99 人、公立が 1,277 人、私立が 3,852 人で、私立が全体の 73.7% を占めている。



年齢別では、3歳児が1,657人で、前年度より428人(20.5%)減少し、4歳児が1,740人で、前年度より457人(20.8%)減少し、5歳児が1,831人で、前年度より492人(21.2%)減少している。園児数に占める3歳児の割合は31.7%(前年度31.6%)である。

また、3歳児入園者の割合は93.7%(前年度92.7%)である。

本務教員1人当たりの園児数は10.2人(前年度11.0人)で、全国の13.8人を下回っている。
(表1、2、図1、統計表3、15)

表2 年齢別園児数

(単位:人、%)

年度	計	3歳児	4歳児			5歳児			3歳児入園者の割合	
			計	3歳から入園	4歳から入園	計	3歳から入園	4歳から入園		5歳から入園
平成22	7,660	2,462	2,483	2,246	237	2,715	2,329	279	107	91.9
23	7,411	2,338	2,555	2,343	212	2,518	2,183	250	85	92.6
24	7,229	2,283	2,391	2,197	194	2,555	2,238	248	69	92.9
25	6,891	2,168	2,338	2,128	210	2,385	2,080	216	89	92.5
26	6,605	2,085	2,197	2,007	190	2,323	2,029	199	95	92.7
27	5,228	1,657	1,740	1,614	126	1,831	1,629	153	49	93.7
男子	2,613	843	893	833	60	877	779	79	19	94.0
女子	2,615	814	847	781	66	954	850	74	30	93.5
国立	99	25	36	24	12	38	26	12	—	75.8
公立	1,277	366	437	396	41	474	390	60	24	90.2
私立	3,852	1,266	1,267	1,194	73	1,319	1,213	81	25	95.4

幼稚園就園率(小学校第1学年児童数に対する幼稚園修了者の比率)は27.1%で、前年度と同率である。

(表3、統計表10、34)

表3 幼稚園就園率

(単位:人、%)

年度	幼稚園修了者数	小学校第1学年児童数	幼稚園就園率
平成22	2,745	9,586	28.6
23	2,695	9,327	28.9
24	2,531	9,034	28.0
25	2,554	8,929	28.6
26	2,369	8,751	27.1
27	2,337	8,611	27.1

注) 幼稚園就園率=幼稚園修了者数÷小学校第1学年児童数×100

(4) 教員数及び職員数

教員数(本務者)は514人(男子28人、女子486人)で、前年度より87人(14.5%)減少している。教員数に占める女子教員の割合は94.6%である。

職員数は96人で、前年度より16人減少している。

(表1、統計表9、12、14)

2 幼保連携型認定こども園

園数 26 園、園児数 3,972 人

表 4 幼保連携型認定こども園の推移

(単位：園、学級、人、%)

年度	A 園数	B 学級数	C 園児数	対前年度 増減率	D 教員数 (本務者)	対前年度 増減率	1学級当たり		本務教員1人当たり		女子教員 の占める 割合
							園児数 (3~5歳児)	対前年度 増減数	園児数 C/D	対前年度 増減数	
平成26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
27	26	137	3,972	—	594	—	20.5	—	6.7	—	96.5
私立	26	137	3,972	—	594	—	20.5	—	6.7	—	96.5

(1) 幼保連携型認定こども園数

幼保連携型認定こども園数は 26 園（新設 26 園）である。

設置者別にみると、私立が 26 園となっている。

(表 4、統計表 17)

(2) 学級数

学級数は 137 学級である。

収容人員別にみると、「26~30 人学級」が 36 学級で最も多く、次いで「1~15 人学級」、「16~20 人学級」、「21~25 人学級」がともに 31 学級となっている。

(表 4、統計表 22, 23)

(3) 園児数

園児数は 3,972 人である。

男女別にみると、男子が 2,003 人で、女子が 1,969 人である。

年齢別では、0 歳児が 91 人（全園児数の 2.3%）、1 歳児が 512 人（同 12.9%）、2 歳児が 564 人（同 14.2%）、3 歳児が 950 人（同 23.9%）、4 歳児が 943 人（同 23.7%）、5 歳児が 912 人（同 23.0%）である。

本務教員（教育・保育職員）1 人当たりの園児数は 6.7 人で、全国の 7.5 人を下回っている。

(表 4、5、統計表 18)

表 5 年齢別園児数

(単位：人、%)

年 度	計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
平成 26	—	—	—	—	—	—	—
27	3,972	91	512	564	950	943	912
男子	2,003	50	272	293	479	486	423
女子	1,969	41	240	271	471	457	489
私立	3,972	91	512	564	950	943	912

(4) 教員数及び職員数

教員数（本務者）は、594 人（男子 21 人、女子 573 人）であり、女子職員の割合は 96.5% となっている。

職員数は 123 人である。

(表 4、統計表 24、27、29)

3 小 学 校

児童数 54,195 人で減少

表 6 小学校の推移

(単位：校、学級、人、%)

年度	A 学校数	B 学級数	C 児童数	D		1学級当たり		本務教員1人当たり		女子教員 の占める 割合	
				対前年度 増減率	教員数 (本務者)	対前年度 増減率	児童数 C/B	対前年度 増減数	児童数 C/D		対前年度 増減数
平成22	203	2,430	59,870	△1.0	3,700	0.6	24.6	△0.1	16.2	△0.2	68.2
23	201	2,432	59,145	△1.2	3,717	0.5	24.3	△0.3	15.9	△0.3	67.5
24	199	2,384	57,959	△2.0	3,682	△0.9	24.3	0.0	15.7	△0.2	67.2
25	198	2,372	56,684	△2.2	3,685	0.1	23.9	△0.4	15.4	△0.3	66.9
26	196	2,334	55,277	△2.5	3,651	△0.9	23.7	△0.2	15.1	△0.3	66.3
27	196	2,321	54,195	△2.0	3,653	0.1	23.3	△0.4	14.8	△0.3	65.8
国立	1	12	437	△2.2	18	0.0	36.4	△0.9	24.3	△0.5	38.9
公立	195	2,309	53,758	△2.0	3,635	0.1	23.3	△0.3	14.8	△0.3	65.9

(1) 学校数

学校数は196校(本校195校、分校1校)で、前年度と同数であり、このうち休校中の学校は2校(公立2校)であった。

設置者別にみると、国立が1校、公立が195校となっている。

市町村別では、富山市67校、高岡市26校、射水市15校などとなっている。

学級数別では、8学級の学校が29校(構成比14.8%)で最も多く、次いで14学級の学校が24校(同12.2%)、7学級の学校が22校(同11.2%)などとなっている。学級規模で学校数をみると、「11学級以下(小規模又は休校)」が103校(構成比52.6%)、「12~18学級(標準)」が66校(同33.7%)、「19学級以上(大規模)」が27校(同13.8%)となっている。(表6、統計表32、41)

(2) 学級数

学級数は2,321学級で、前年度より13学級減少している。

編制方式別にみると、単式学級が1,942学級(構成比83.7%)、複式学級が29学級(同1.2%)、特別支援学級が350学級(同15.1%)となっている。(表6、統計表33)

(3) 児童数

児童数は54,195人(男子27,807人、女子26,388人)で、前年度より1,082人(2.0%)減少している。これはピーク時(昭和33年度、159,700人)の33.9%である。

学級編制方式別にみると、単式学級児童が52,934人、複式学級児童が296人、特別支援学級児童が965人となっている。

市町村別では、富山市21,789人、高岡市8,149人、射水市5,248人の順に多い。対前年度増減数をみると、富山市271人(1.2%)減少、高岡市131人(1.6%)減少、射水市114人(2.1%)減少などすべての市町村で減少している。

1学級当たりの児童数は23.3人（前年度23.7人）で、全国の24.0人を下回っている。
 本務教員1人当たりの児童数は14.8人（前年度15.1人）で、全国の15.7人を下回っている。
 （表6、7、統計表34、44）

表7 男女別及び学年別児童数の推移

（単位：人）

年度	計	男子	女子	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
平成22	59,870	30,613	29,257	9,586	9,680	10,151	10,126	10,210	10,117
23	59,145	30,228	28,917	9,327	9,594	9,704	10,151	10,145	10,224
24	57,959	29,764	28,195	9,034	9,349	9,587	9,692	10,156	10,141
25	56,684	29,119	27,565	8,929	9,030	9,326	9,572	9,685	10,142
26	55,277	28,374	26,903	8,751	8,934	9,016	9,321	9,585	9,670
27	54,195	27,807	26,388	8,611	8,752	8,927	9,011	9,324	9,570

（4）教員数及び職員数

教員数（本務者）は3,653人（男子1,250人、女子2,403人）で、前年度より2人（0.1%）増加している。教員数に占める女子教員の割合は65.8%である。

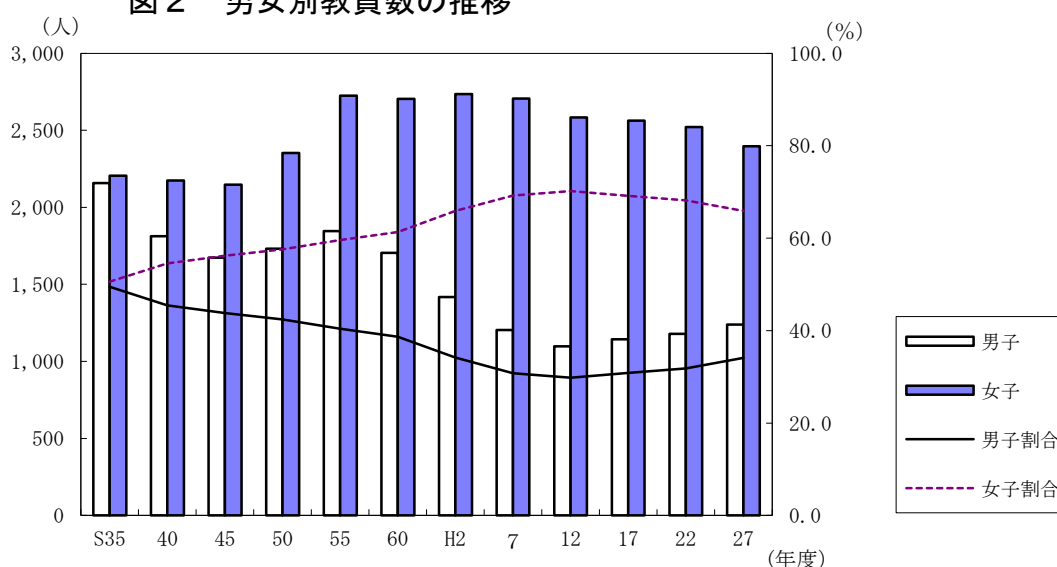
職員数は796人で、前年度より13人減少している。（表6、8、図2、統計表35、36、49）

表8 男女別教員数

（単位：人）

年度	計	男	女
平成22	3,700	1,178	2,522
23	3,717	1,207	2,510
24	3,682	1,208	2,474
25	3,685	1,219	2,466
26	3,651	1,232	2,419
27	3,653	1,250	2,403

図2 男女別教員数の推移



(5) 長期欠席者数

平成 26 年度間の 30 日以上の長期欠席者数は、平成 25 年度間より 34 人（10.0%）多い 374 人で、理由別では「不登校」が 215 人（構成比 57.5%）で最も多く、次いで「その他」が 112 人（同 29.9%）、「病気」が 47 人（同 12.6%）となっている。

全児童数（平成 26 年度児童数 55,277 人）に占める長期欠席者の比率は、全国の 0.88% より 0.20 ポイント低い 0.68% で、低い順に全国第 13 位（前年度第 11 位）であった。

また、全児童数に占める「不登校」の比率は、全国の 0.39% で全国と同率であり、低い順に全国第 26 位（前年度第 24 位）であった。

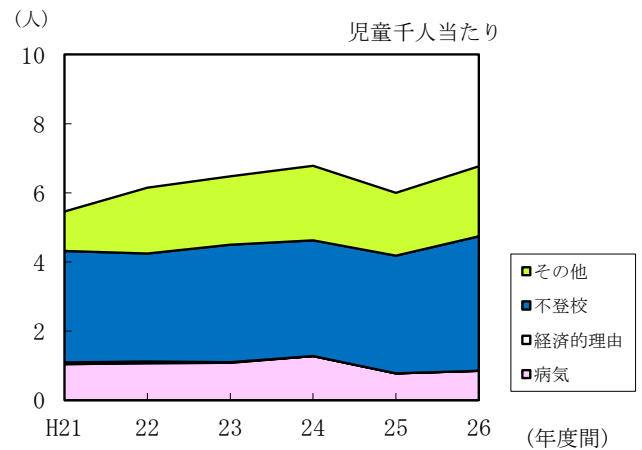
（表 9、10、図 3、4、統計表 38）

表 9 理由別長期欠席者数 (単位：人)

年度間	計	長期欠席 (30日以上) 理由			
		病気	経済的 理由	不登校	その他
平成21	330	63	3	195	69
22	368	64	3	187	114
23	383	64	1	201	117
24	393	74	—	194	125
25	340	44	—	193	103
26	374	47	—	215	112

注) 「その他」には、「欠席理由が2つ以上(「病気」と「不登校」など)あり主たる理由を特定できない者」や「保護者の無理解・無関心から欠席している者」などが含まれている。

図 3 長期欠席理由別推移



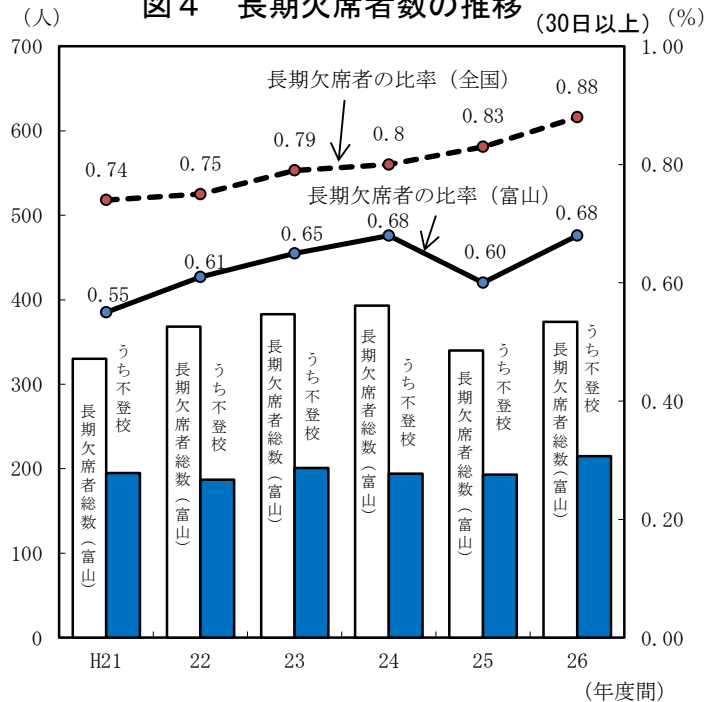
$$\text{児童千人当たりの長期欠席者数} = \frac{\text{各年度間の長期欠席者数}}{\text{各年5月1日現在の児童数}} \times 1000$$

表10 全児童数に占める
不登校の比率

年度間	(単位：%)	
	富山県	全 国
平成21	0.32	0.32
22	0.31	0.32
23	0.34	0.33
24	0.33	0.31
25	0.34	0.36
26	0.39	0.39

$$\text{比率} = \frac{\text{各年度間不登校の欠席者数}}{\text{各年5月1日現在の児童数}} \times 100$$

図 4 長期欠席者数の推移 (30日以上) (%)



4 中 学 校

生徒数 29,867 人で減少
長期欠席者数は 7 年連続減少

表11 中学校の推移

(単位：校、学級、人、%)

年度	A		B		C		D		1 学級当たり		本務教員 1 人当たり 生徒数 C/D	女子教員 の占める 割合
	学校数	学級数	生徒数	対前年度 増減率	教員数 (本務者)	対前年度 増減率	生徒数 C/B	対前年度 増減数	生徒数 C/D	対前年度 増減数		
平成22	83	1,012	30,448	△1.5	2,153	0.6	30.1	△0.2	14.1	△0.3	48.0	
23	83	1,032	30,500	0.2	2,168	0.7	29.6	△0.5	14.1	0.0	47.7	
24	83	1,023	30,364	△0.4	2,152	△0.7	29.7	0.1	14.1	0.0	47.2	
25	82	1,030	30,372	0.0	2,172	0.9	29.5	△0.2	14.0	△0.1	46.9	
26	83	1,039	30,419	0.2	2,183	0.5	29.3	△0.2	13.9	△0.1	46.6	
27	83	1,024	29,867	△1.8	2,173	△0.5	29.2	△0.1	13.7	△0.2	46.2	
国立	1	12	478	△0.4	23	0.0	39.8	△0.2	20.8	△0.1	26.1	
公立	81	1,003	29,059	△1.8	2,129	△0.6	29.0	△0.1	13.6	△0.2	46.5	
私立	1	9	330	△3.8	21	10.5	36.7	△1.4	15.7	△2.4	38.1	

(1) 学校数

学校数は 83 校（本校 82 校、分校 1 校）で、前年度と同数である。

設置者別にみると、国立が 1 校、公立が 81 校、私立が 1 校となっている。

市町村別では、富山市 29 校、高岡市 12 校、南砺市 8 校などとなっている。

学級数別では、11 学級が 11 校（構成比 13.3%）で最も多く、次いで 4 学級、12 学級がともに 7 校（同 8.4%）などとなっている。学級規模で学校数をみると、「11 学級以下（小規模）」が 42 校（構成比 50.6%）、「12～18 学級（標準）」が 25 校（同 30.1%）、「19 学級以上（大規模）」が 16 校（同 19.3%）となっている。（表 11、統計表 51、53）

(2) 学級数

学級数は 1,024 学級で、前年度より 15 学級減少している。

編制方式別にみると、単式学級が 883 学級（構成比 86.2%）、複式学級が 1 学級（同 0.1%）、特別支援学級が 140 学級（同 13.7%）となっている。（表 11、統計表 52）

(3) 生徒数

生徒数は 29,867 人（男子 15,346 人、女子 14,521 人）で、前年度より 552 人（1.8%）減少している。これはピーク時（昭和 37 年度、88,658 人）の 33.7%である。

学級編制方式別にみると、単式学級生徒が 29,449 人、複式学級生徒が 8 人、特別支援学級生徒が 410 人となっている。

市町村別では、富山市 11,904 人、高岡市 4,469 人、射水市 2,847 人の順に多い。対前年度増減数をみると、舟橋村 8 人（6.1%）増加、小矢部市 4 人（0.5%）増加、上市町 2 人（0.3%）増加など 5 市町村で増加し、高岡市 191 人（4.1%）減少、富山市 182 人（1.5%）減少、砺波市 53 人（3.4%）減少など 10 市町で減少している。

1 学級当たりの生徒数は 29.2 人（前年度 29.3 人）で、全国の 28.2 人を上回っている。
本務教員 1 人当たりの生徒数は 13.7 人（前年度 13.9 人）で、全国と同数である。

（表 11、12、統計表 55、66）

表12 男女別及び学年別生徒数の推移

（単位：人）

年度	計	男子	女子	1 学年	2 学年	3 学年
平成22	30,448	15,586	14,862	10,106	10,303	10,039
23	30,500	15,550	14,950	10,089	10,106	10,305
24	30,364	15,507	14,857	10,197	10,074	10,093
25	30,372	15,529	14,843	10,122	10,187	10,063
26	30,419	15,523	14,896	10,117	10,113	10,189
27	29,867	15,346	14,521	9,654	10,110	10,103

（4）教員数及び職員数

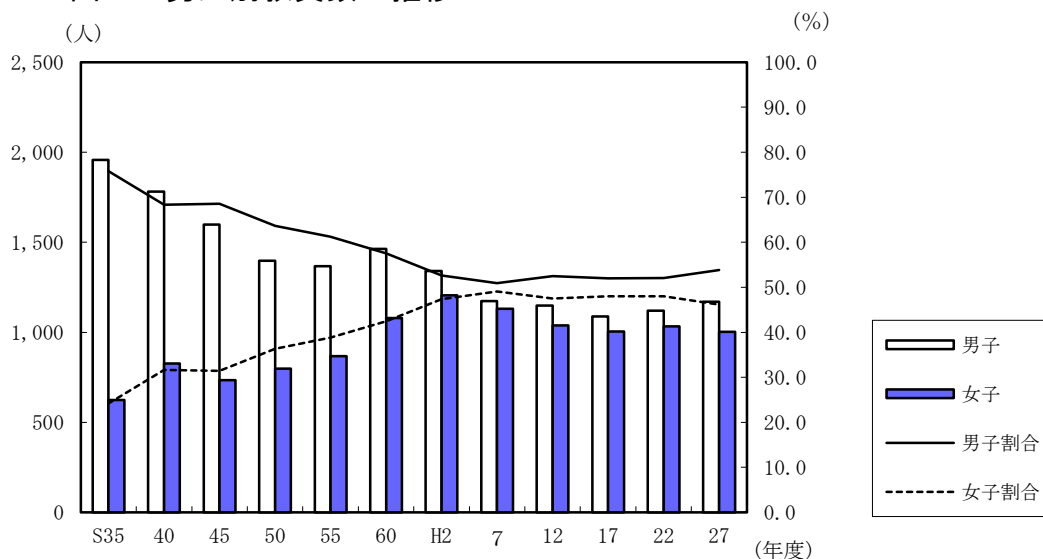
教員数（本務者）は 2,173 人（男子 1,170 人、女子 1,003 人）で、前年度より 10 人（0.5%）減少している。教員数に占める女子教員の割合は 46.2% である。

職員数は 301 人で、前年度より 1 人増加している。（表 11、13、図 5、統計表 60、64、67）

表 13 男女別教員数 （単位：人）

年度	計	男	女
平成 22	2,153	1,120	1,033
23	2,168	1,133	1,035
24	2,152	1,137	1,015
25	2,172	1,154	1,018
26	2,183	1,166	1,017
27	2,173	1,170	1,003

図 5 男女別教員数の推移



(5) 長期欠席者数

平成 26 年度間の 30 日以上長期欠席者数は、平成 25 年度間より 33 人 (4.0%) 少ない 800 人で、理由別では「不登校」が 589 人 (構成比 73.6%) で最も多く、次いで「その他」が 133 人 (同 16.6%)、「病気」が 77 人 (同 9.6%) となっている。

全生徒数 (平成 26 年度生徒数 30,419 人) に占める長期欠席者の比率は、全国の 3.62% より 0.99 ポイント低い 2.63% で、低い順に全国第 3 位 (前年度第 3 位) であった。

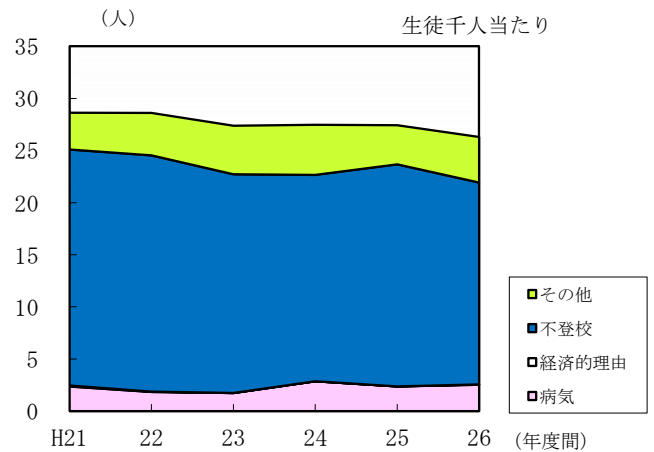
また、全生徒数に占める「不登校」の比率は、全国の 2.76% より 0.82 ポイント低い 1.94% で、低い順に全国第 1 位 (前年度第 4 位) であった。 (表 14、15、図 6、7、統計表 57)

表 14 理由別長期欠席者数 (単位:人)

年度間	計	長期欠席 (30日以上) 理由			
		病気	経済的 理由	不登校	その他
平成21	885	73	3	700	109
22	871	56	1	690	124
23	835	53	—	640	142
24	834	87	—	601	146
25	833	72	—	647	114
26	800	77	1	589	133

注) 「その他」には、「欠席理由が2つ以上(「病気」と「不登校」など)あり主たる理由を特定できない者」や「保護者の無理解・無関心から欠席している者」などが含まれている。

図 6 長期欠席理由別推移



$$\text{生徒千人当たりの長期欠席者数} = \frac{\text{各年度間の長期欠席者数}}{\text{各年5月1日現在の生徒数}} \times 1000$$

表 15 全生徒数に占める
不登校の比率

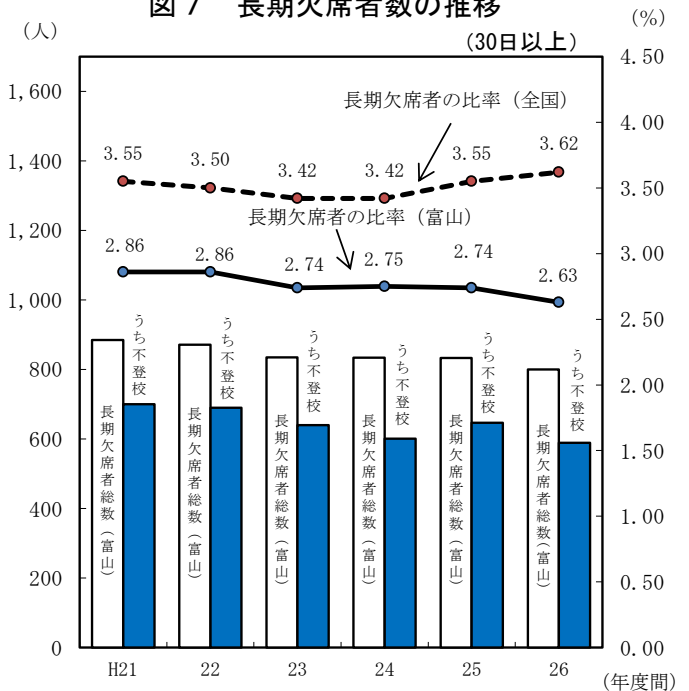
(単位:%)

年度間	富山県	全国
平成 21	2.26	2.77
22	2.27	2.73
23	2.10	2.65
24	1.98	2.57
25	2.13	2.69
26	1.94	2.76

$$\text{比率} = \frac{\text{各年度間不登校の欠席者数}}{\text{各年5月1日現在の生徒数}} \times 100$$

注) 全国の不登校の比率は、中等教育学校 (前期課程) を含まない。

図 7 長期欠席者数の推移



注) 全国の長期欠席者の比率は、中等教育学校 (前期課程) を含まない。

5 高等学校

【全日制課程・定時制課程】

生徒数 28,671 人で減少

表16 高等学校（全日制課程・定時制課程）の推移

(単位：校、人、%)

年度	A 学校数	B		C		本務教員 1 人当たり		女子教員 の占める 割合
		生徒数	対前年度 増減率	教員数 (本務者)	対前年度 増減率	生徒数 B/C	対前年度 増減数	
平成22	61	28,613	1.8	2,341	1.0	12.2	0.1	36.2
23	61	28,753	0.5	2,354	0.6	12.2	0.0	36.3
24	53	29,279	1.8	2,344	△0.4	12.5	0.3	36.6
25	53	28,864	△1.4	2,308	△1.5	12.5	0.0	37.1
26	53	28,857	△0.0	2,316	0.3	12.5	0.0	37.6
27	53	28,671	△0.6	2,309	△0.3	12.4	△0.1	38.2
公立	43	22,681	△0.3	1,907	0.5	11.9	△0.1	39.5
私立	10	5,990	△2.0	402	△3.8	14.9	0.3	31.8

(1) 学校数

学校数は 53 校で、前年度と同数である。

設置者別にみると、公立が 43 校（全日制 37 校、定時制 5 校、併置 1 校）、私立が 10 校（全日制 10 校）となっている。

学科別では、1 学科のみの単独校が 34 校（普通科 22 校、農業科 2 校、工業科 5 校、商業科 2 校、その他 1 校、総合学科 2 校）、総合校が 19 校（「普通科と職業科 1」の学校が 11 校、「普通科と職業科 2 以上」の学校が 7 校、「職業科 1 と総合学科」の学校が 1 校）となっている。普通科を設置している学校は 40 校（構成比 75.5%）である。

男女別学校数では、男子校及び女子校は無く、男女共学校が 53 校となっている。

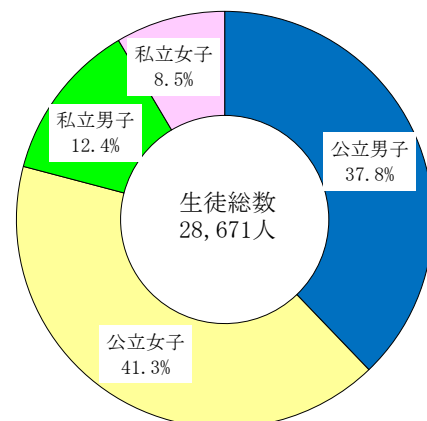
(表 16、統計表 70、71、72)

(2) 生徒数

生徒数は 28,671 人（男子 14,394 人、女子 14,277 人）で、前年度より 186 人（0.6%）減少している。これはピーク時（昭和 40 年度、65,436 人）の 43.8% である。

設置者別にみると、公立が 22,681 人（男子 10,845 人、女子 11,836 人）で、前年度より 63 人（0.3%）減少し、私立が 5,990 人（男子 3,549 人、女子 2,441 人）で、前年度より 123 人（2.0%）減少している。この結果、公立が 79.1%、私立が 20.9% の割合であった。

図 8 設置者・男女別生徒数の構成



課程別では、全日制本科が27,305人(男子13,781人、女子13,524人)で、前年度より168人(0.6%)減少し、定時制本科が1,111人(男子525人、女子586人)で、前年度より10人(0.9%)増加し、全日制専攻科が99人(男子19人、女子80人)で、前年度より35人(26.1%)減少し、定時制専攻科が156人(男子69人、女子87人)で、前年度より7人(4.7%)増加している。

本科生徒数を学科別にみると、普通科が18,521人(構成比65.2%)で最も多く、次いで工業科が3,425人(同12.1%)、商業科が2,247人(同7.9%)などとなっている。

本務教員1人当たりの生徒数は12.4人(前年度12.5人)で、全国の14.1人を下回っている。

本年度の本科の入学者数は9,633人(全日制9,291人、定時制342人)で、前年度より76人(0.8%)増加し、このうち他県所在の中学校卒業者が41人(全日制40人、定時制1人)、過年度中学校卒業者が22人(全日制3人、定時制19人)であった。

(表16、17、18、19、図8、統計表84、85、86、87)

表17 学年別生徒数(本科+専攻科)

(単位:人)

年度	計	男子	女子	本 科					専攻科
				計	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	
平成23	28,753	14,425	14,328	28,446	9,579	9,837	8,938	92	307
24	29,279	14,688	14,591	28,999	9,846	9,396	9,643	114	280
25	28,864	14,578	14,286	28,587	9,645	9,646	9,203	93	277
26	28,857	14,524	14,333	28,574	9,576	9,438	9,476	84	283
27	28,671	14,394	14,277	28,416	9,662	9,387	9,264	103	255

表18 学科別生徒数(本科のみ)

(単位:人)

年度	計	普通	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	福祉	その他	総合
平成23	28,446	18,423	575	3,587	2,257	204	680	118	129	1,083	1,390
24	28,999	18,835	587	3,583	2,366	176	664	117	119	1,121	1,431
25	28,587	18,540	577	3,532	2,297	175	653	118	119	1,159	1,417
26	28,574	18,574	575	3,488	2,301	173	658	116	109	1,161	1,419
27	28,416	18,521	567	3,425	2,247	178	666	117	99	1,168	1,428
男子	14,306	9,017	317	2,919	867	124	84	5	1	568	404
女子	14,110	9,504	250	506	1,380	54	582	112	98	600	1,024

注) 理数関係及び外国語関係はその他に分類されている(探究科学科を含む)。

表19 学科別生徒数構成比(本科のみ)

(単位:%)

年度	計	普通	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	福祉	その他	総合
平成23	100.0	64.8	2.0	12.6	7.9	0.7	2.4	0.4	0.5	3.8	4.9
24	100.0	65.0	2.0	12.4	8.2	0.6	2.3	0.4	0.4	3.9	4.9
25	100.0	64.9	2.0	12.4	8.0	0.6	2.3	0.4	0.4	4.1	5.0
26	100.0	65.0	2.0	12.2	8.1	0.6	2.3	0.4	0.4	4.1	5.0
27	100.0	65.2	2.0	12.1	8.0	0.6	2.3	0.4	0.3	4.1	5.0
男子	100.0	63.0	2.2	20.4	6.1	0.9	0.6	0.0	0.0	4.0	2.8
女子	100.0	67.4	1.8	3.6	9.8	0.4	4.1	0.8	0.7	4.3	7.3

注) 理数関係及び外国語関係はその他に分類されている(探究科学科を含む)。

(3) 教員数及び職員数

教員数（本務者）は2,309人（男1,428人、女子881人）で、前年度より7人（0.3%）減少している。教員数に占める女子教員の割合は38.2%である。

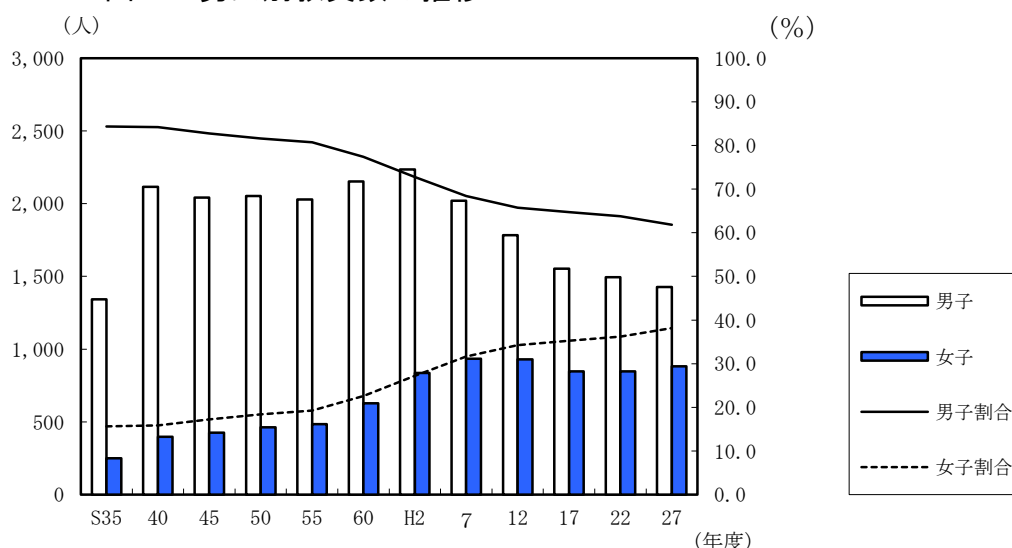
設置者別にみると、公立が1,907人（男子1,154人、女子753人）、私立が402人（男子274人、女子128人）となっている。

職員数は459人で、前年度より3人減少している。（表16、20、図9、統計表77、78、79）

表20 男女別教員数 （単位：人）

年度	計	男	女
平成22	2,341	1,494	847
23	2,354	1,499	855
24	2,344	1,485	859
25	2,308	1,451	857
26	2,316	1,445	871
27	2,309	1,428	881

図9 男女別教員数の推移



【通信制課程】

(1) 学校数

学校数は2校（併置校2校）で、前年度と同数である。

(2) 生徒数

生徒数は897人（男子422人、女子475人）で、前年度より40人（4.7%）増加している。

20歳以上について年齢別にみると、「20～24歳」が197人（構成比22.0%）で最も多く、次いで「30～39歳」が182人（同20.3%）、「25～29歳」が123人（同13.7%）などとなっている。

(3) 教員数

教員数（本務者）は19人で、前年度と同数である。

（統計表92、93、96）

6 特別支援学校

在学者数は増加

表21 特別支援学校の推移

(単位：校、学級、人、%)

年度	A		B		C		D		1学級当たり		本務教員1人当たり	
	学校数	学級数	在学者数	対前年度増減率	教員数(本務者)	対前年度増減率	在学者数C/B	対前年度増減数	在学者数C/D	対前年度増減数		
平成22	13	348	1,185	1.2	891	0.3	3.4	0.1	1.3	0.0		
23	13	351	1,215	2.5	892	0.1	3.5	0.1	1.4	0.1		
24	13	347	1,227	1.0	908	1.8	3.5	0.0	1.4	0.0		
25	15	345	1,243	1.3	907	△0.1	3.6	0.1	1.4	0.0		
26	15	354	1,276	2.7	905	△0.2	3.6	0.0	1.4	0.0		
27	15	359	1,295	1.5	907	0.2	3.6	0.0	1.4	0.0		
国立	1	9	59	0.0	31	6.9	6.6	0.0	1.9	△0.1		
公立	14	350	1,236	1.6	876	0.0	3.5	0.0	1.4	0.0		

(1) 学校数

学校数は15校で、前年度と同数である。

設置者別にみると、国立が1校、公立が14校となっている。

(2) 学級数

学級数は359学級で、その内訳は、幼稚部が6学級、小学部が128学級、中学部が97学級、高等部が128学級となっている。

(3) 在学者数

在学者数は1,295人(男子899人、女子396人)で、前年度より19人(1.5%)増加している。

(4) 教員数

教員数(本務者)は907人(男子281人、女子626人)で、前年度より2人(0.2%)増加している。

(表21、統計表97、98、99、102)

7 専修学校・各種学校

学校数は専修学校が1校減少

生徒数は専修学校、各種学校とも減少

【専修学校】

表22 専修学校の推移

(単位：校、人)

年度	学校数	生徒数			教員数		課程別生徒数(再掲)		
		計	男子	女子	本務者	兼務者	高等課程	専門課程	一般課程
平成22	31	3,390	1,071	2,319	276	1,089	168	3,122	100
23	31	3,339	1,043	2,296	268	1,104	162	3,119	58
24	32	3,338	927	2,411	285	1,116	171	3,132	35
25	32	3,442	935	2,507	294	1,094	182	3,221	39
26	30	3,494	975	2,519	290	1,128	152	3,322	20
27	29	3,425	953	2,472	285	1,138	155	3,247	23
公立	6	731	71	660	67	440	-	731	-
私立	23	2,694	882	1,812	218	698	155	2,516	23

(1) 学校数

学校数は29校で、前年度より1校減少(廃校1校)している。また、休校中の学校は2校(私立2校)であった。

設置者別にみると、公立が6校、私立が23校となっている。(表22、統計表104、105)

(2) 生徒数

生徒数は3,425人で、前年度より69人(2.0%)減少している。

男女別にみると、男子が953人で、前年度より22人(2.3%)減少し、女子が2,472人で、前年度より47人(1.9%)減少している。

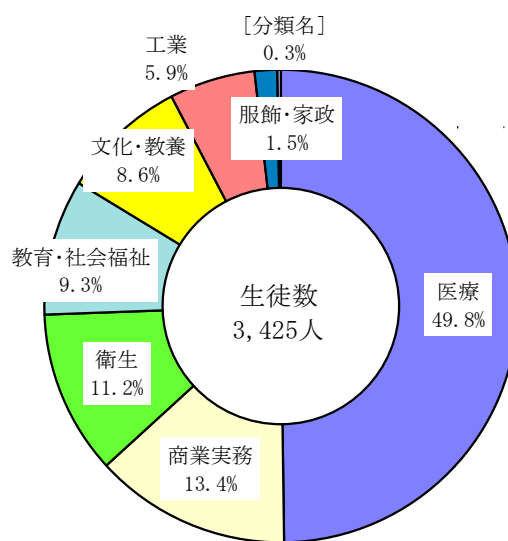
課程別では、高等課程が155人(構成比4.5%)、専門課程が3,247人(同94.8%)、一般課程が23人(同0.7%)となっている。

分野別では、医療関係1,705人、商業実務関係460人、衛生関係384人の順に多い。

学科別では、看護1,174人、美容237人、理学・作業療法196人の順に多い。

(表22、図10、統計表104、108、109)

図10 専修学校の学科分野別生徒数の構成



(3) 教員数

教員のうち本務者は285人(男子83人、女子202人)で、前年度より5人(1.7%)減少し、兼務者は1,138人(男子624人、女子514人)で、前年度より10人(0.9%)増加している。

教員数(本務者)を課程別にみると、高等課程が10人、専門課程が270人、一般課程が5人となっている。設置者別では、公立が67人、私立が218人となっている。

(表22、統計表104、111)

【各種学校】

表23 各種学校の推移

(単位:校、人)

年度	学校数	生徒数			教員数		修業年限別生徒数(再掲)	
		計	男子	女子	本務者	兼務者	1年未満	1年以上
平成22	27	2,264	1,244	1,020	280	102	1,621	643
23	27	2,431	1,370	1,061	276	103	1,769	662
24	26	2,391	1,316	1,075	273	105	1,738	653
25	25	2,458	1,356	1,102	272	108	1,874	584
26	25	3,012	1,748	1,264	280	101	2,493	519
27	25	2,320	1,313	1,007	274	90	1,893	427
私立	25	2,320	1,313	1,007	274	90	1,893	427

(1) 学校数

学校数は25校で、前年度と同数である。

(表23、統計表112)

(2) 生徒数

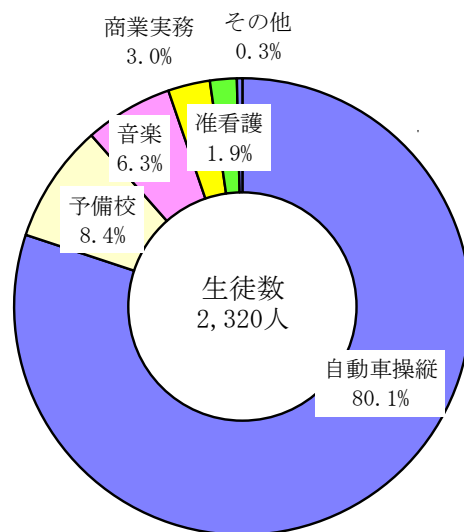
生徒数は2,320人で、前年度より692人(23.0%)減少している。

男女別にみると、男子が1,313人で、前年度より435人(24.9%)減少し、女子が1,007人で、前年度より257人(20.3%)減少している。

課程別では、自動車操縦1,858人、予備校195人、音楽145人の順に多い。

(表23、図11、統計表112、114)

図11 各種学校の課程別生徒数の構成



(3) 教員数

教員数のうち本務者は274人(男子239人、女子35人)で、前年度より6人(2.1%)減少し、兼務者は90人(男子54人、女子36人)で、前年度より11人(10.9%)減少している。

(表23、統計表112、117)

8 中学校（卒業後の状況）

高等学校等進学率 99.1% で全国第 6 位

表24 中学校卒業者の状況別推移

(単位：人、%)

各年 3月	A 卒業生数	B 高等学校 等進学者	C 専修学校 高等課程 進学者	D 専修学校 一般課程 等入学者	E 就職者	F 左記以 外の者	G 不詳 死亡	H BCDのうち 就職してい る者(再掲)	I 進学率 B/A	J 就職率 (E+H)/A
平成22	10,531	10,379	—	1	39	112	—	4	98.6	0.4
23	10,044	9,932	1	1	31	79	—	2	98.9	0.3
24	10,308	10,194	3	3	28	79	1	2	98.9	0.3
25	10,098	9,982	1	1	26	87	1	2	98.9	0.3
26	10,063	9,968	2	2	29	60	2	3	99.1	0.3
27	10,189	10,101	1	3	19	65	—	1	99.1	0.2
男子	5,146	5,083	—	2	18	43	—	1	98.8	0.4
女子	5,043	5,018	1	1	1	22	—	—	99.5	—
国立	160	159	—	—	—	1	—	—	99.4	—
公立	9,925	9,838	1	3	19	64	—	1	99.1	0.2
私立	104	104	—	—	—	—	—	—	100.0	—

注) 「D 専修学校一般課程等入学者」とは、専修学校一般課程、各種学校及び公共職業能力開発施設等入学者。

(1) 卒業生数

平成 27 年 3 月の中学校卒業生数は 10,189 人で、前年度より 126 人 (1.3%) 増加している。

男女別にみると、男子が 5,146 人で、前年度より 1 人 (0.0%) 減少し、女子が 5,043 人で、前年度より 127 人 (2.6%) 増加している。

進路別では、高等学校等進学者が 10,101 人 (構成比 99.1%)、専修学校高等課程進学者・専修学校一般課程等入学者が 4 人 (同 0.0%)、就職者が 19 人 (同 0.2%) などとなっている。

(表 24、統計表 121、122)

(2) 高等学校等進学者数

高等学校等への進学者数は 10,101 人 (男子 5,083 人、女子 5,018 人) で、前年度より 133 人 (1.3%) 増加している。その内訳は、高等学校全日制課程 9,363 人 (構成比 92.7%)、定時制課程 319 人 (同 3.2%)、高等専門学校 282 人 (同 2.8%)、特別支援学校高等部 77 人 (同 0.8%)、高等学校通信制課程 60 人 (同 0.6%) である。

他県への進学者数は 179 人で、前年度より 59 人 (49.2%) 増加し、進学者全体の 1.8% であった。

(表 24、25、統計表 121、122)

(3) 高等学校等進学率

高等学校等進学率は 99.1% (前年度同率) で、全国第 6 位 (前年度第 4 位) であった。

男女別にみると、男子が 98.8% (前年度同率)、女子が 99.5% (前年度 99.3%) となっている。

(表 24、26、図 12、統計表 121、122)

表25 高等学校等進学者の進学先別内訳

(単位：人)

各年3月	高等学校等 進学者総数	高 等 学 校			高等専門 学 校	特別支援 学校高等部
		全日制	定時制	通信制		
平成22	10,379	9,660	360	49	257	53
23	9,932	9,253	311	57	251	60
24	10,194	9,497	331	44	267	55
25	9,982	9,319	320	43	231	69
26	9,968	9,278	303	38	269	80
27	10,101	9,363	319	60	282	77
男子	5,083	4,666	148	30	186	53
女子	5,018	4,697	171	30	96	24

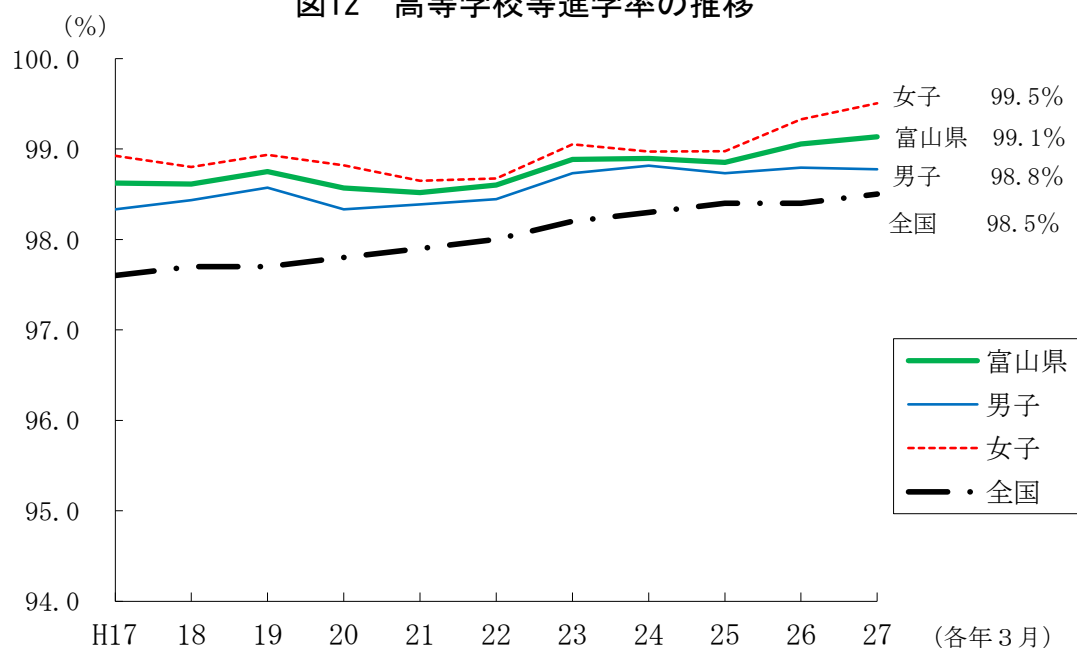
表26 高等学校等進学率の推移

(単位：%)

各年3月	富山県	男 子	女 子	全 国
平成17	98.6	98.3	98.9	97.6
18	98.6	98.4	98.8	97.7
19	98.8	98.6	98.9	97.7
20	98.6	98.3	98.8	97.8
21	98.5	98.4	98.6	97.9
22	98.6	98.4	98.7	98.0
23	98.9	98.7	99.1	98.2
24	98.9	98.8	99.0	98.3
25	98.9	98.7	99.0	98.4
26	99.1	98.8	99.3	98.4
27	99.1	98.8	99.5	98.5

注) 高等学校等進学率は、通信制を含む。
高等学校等進学率の最高は、平成27年の99.14%となった。

図12 高等学校等進学率の推移



(4) 就職状況

就職者総数（表 24 の「E 就職者」と「H BCD のうち就職している者（再掲）」（就職進学者）を加えた全就職者数）は 20 人（男子 19 人、女子 1 人）で、前年度より 12 人（37.5%）減少している。その内訳は、就職者 19 人、就職進学者 1 人である。

就職率は 0.2%（男子 0.4%、女子 0.0%）であった。

就職者総数を産業別にみると、第 3 次産業が 8 人、第 2 次産業が 7 人、第 1 次産業が 4 人などとなっている。

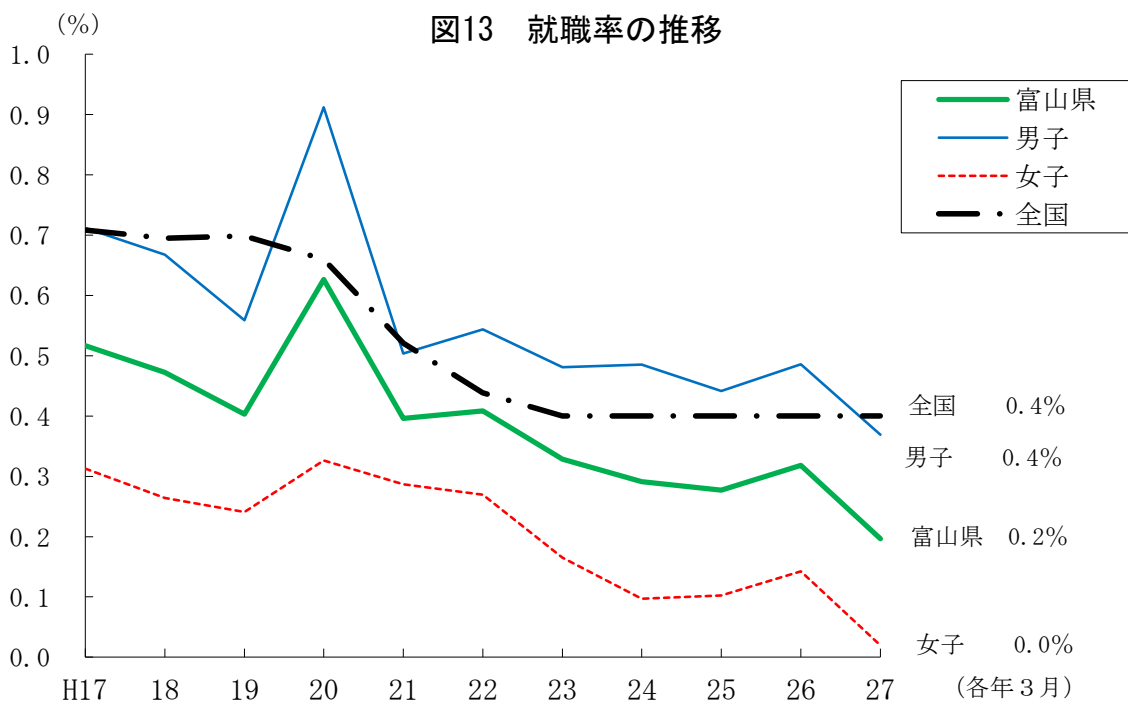
県内就職者数は 19 人（構成比 95.0%）で、前年度より 8 人（29.6%）減少している。

（表 24、27、図 13、統計表 121、122、124）

表27 就職者数及び県内就職率の推移

（単位：人、%）

各年 3 月	就職者総数	うち県内 就職者	県内就職率
平成17	54	51	94.4
18	48	46	95.8
19	41	40	97.6
20	63	56	88.9
21	39	37	94.9
22	43	40	93.0
23	33	30	90.9
24	30	27	90.0
25	28	25	89.3
26	32	27	84.4
27	20	19	95.0



9 高等学校（卒業後の状況）

大学等進学率 52.0% で全国第 19 位

県内就職率 94.2% で全国第 2 位

表 28 高等学校（全日制課程・定時制課程）卒業者の状況別推移

（単位：人、％）

各年 3月	A	B	C	D	E		F	G	H	I	J	K	
	卒業生数	大学等 進学者	専修学校 専門課程 進学者	専修学校 一般課程 等入学者	就職者	うち正規 の職員等 でない者	一時的な 仕事に就 いた者	左記以外 の者	不詳 死亡	BCDのう ち就職し ている者 (再掲)	大学等 進学率 B/A	就職率 (E+I)/A	
平成22	9,041	4,989	1,588	672	1,620		31	141	—	9	55.2	18.0	
23	8,926	4,837	1,506	737	1,708		51	85	2	13	54.2	19.3	
24	8,791	4,683	1,486	682	1,791		46	100	3	11	53.3	20.5	
25	9,556	5,003	1,724	664	1,957		66	142	—	12	52.4	20.6	
26	9,106	4,712	1,627	593	2,007		37	130	—	12	51.7	22.2	
27	9,365	4,870	1,668	620	2,063		2	37	107	—	18	52.0	22.2
男子	4,669	2,267	542	461	1,332		—	12	55	—	10	48.6	28.7
女子	4,696	2,603	1,126	159	731		2	25	52	—	8	55.4	15.7
公立	7,388	4,151	1,184	539	1,431		1	19	64	—	16	56.2	19.6
私立	1,977	719	484	81	632		1	18	43	—	2	36.4	32.1

注) 1 「A 卒業生数」は、全日制課程本科・定時制課程本科の卒業生数。

2 「D 専修学校一般課程等入学者」とは、専修学校一般課程、各種学校及び公共職業能力開発施設等入学者。

3 「F 一時的な仕事に就いた者」は、パートやアルバイト等の臨時的な収入を目的とする仕事に就いた者の数で、就職率には含まれていない。

(1) 卒業生数

平成 27 年 3 月の高等学校卒業生数は 9,365 人で、前年度より 259 人 (2.8%) 増加している。

男女別にみると、男子が 4,669 人で、前年度より 56 人 (1.2%) 増加し、女子が 4,696 人で、前年度より 203 人 (4.5%) 増加している。

設置者別では、公立が 7,388 人、私立が 1,977 人となっている。

課程別では、全日制課程が 9,087 人、定時制課程が 278 人となっている。

進路別では、大学等進学者が 4,870 人 (構成比 52.0%)、専修学校専門課程進学者が 1,668 人 (同 17.8%)、専修学校一般課程等入学者が 620 人 (同 6.6%)、就職者が 2,063 人 (同 22.0%)、一時的な仕事に就いた者が 37 人 (同 0.4%) などとなっている。

(表 28、統計表 126、127、128、129)

(2) 大学等進学者数

大学等への進学者数は 4,870 人 (男子 2,267 人、女子 2,603 人) で、前年度より 158 人 (3.4%) 増加している。その内訳は、大学学部 4,086 人 (男子 2,155 人、女子 1,931 人) (構成比 83.9%)、短期大学本科 710 人 (男子 96 人、女子 614 人) (同 14.6%)、高等学校専攻科 73 人 (同 1.5%)、短大・短期大学の別科 1 人 (同 0.0%) である。

卒業学科別にみると、普通科が 3,789 人 (構成比 77.8%)、農業科が 40 人 (同 0.8%)、工業科が 169 人 (同 3.5%)、商業科が 287 人 (同 5.9%)、水産科が 13 人 (同 0.3%)、家庭

科が46人(同0.9%)、看護科が38人(同0.8%)、福祉科が18人(同0.4%)、理数関係又は外国語関係など(統計表では「その他」に計上)が228人(同4.7%)、総合学科が242人(同5.0%)となっている。(表28、29、統計表126、127)

表29 大学等進学者の進学先別内訳

(単位：人)

各年 3月	大学(学部)			短大(本科)			大学・短大 の別科	高等学校 専攻科	特別支援学校 高等部専攻科	大学・短大の 通信教育部
	計	男子	女子	計	男子	女子				
平成22	4,099	2,232	1,867	798	115	683	—	91	1	—
23	4,025	2,169	1,856	730	111	619	1	78	—	3
24	3,905	2,086	1,819	699	101	598	—	75	1	3
25	4,160	2,256	1,904	780	114	666	—	61	1	1
26	3,984	2,160	1,824	659	96	563	—	68	1	—
27	4,086	2,155	1,931	710	96	614	1	73	—	—

(3) 大学等進学率

大学等進学率は52.0%で、前年度より0.3ポイント上昇し、全国第19位(前年度第20位)であった。このうち大学学部への進学率は43.6%で、前年度より0.2ポイント低下し、短期大学本科への進学率は7.6%で、前年度より0.4ポイント上昇している。

男女別にみると、男子が48.6%(前年度49.1%)、女子が55.4%(前年度54.4%)で、女子の大学等進学率が男子を上回っている。大学学部への進学率では、男子が46.2%(前年度46.8%)、女子が41.1%(前年度40.6%)と、男子が女子を上回っている。なお、女子の進学率の内訳では、大学学部への進学率(41.1%)が短期大学本科への進学率(13.1%)を上回っている。

卒業学科別では、普通科が62.5%(前年度62.7%)、農業科が21.6%(前年度15.1%)、工業科が14.3%(前年度14.6%)、商業科が36.8%(前年度36.9%)、水産科が24.5%(前年度8.8%)、家庭科が24.2%(前年度18.0%)、看護科が100.0%(前年度100.0%)、福祉科が46.2%(前年度59.0%)、理数関係又は外国語関係など(統計表では「その他」に計上)が60.3%(前年度62.3%)、総合学科が52.7%(前年度50.0%)となっている。

(表28、30、図14、15、16、統計表126、127)

表30 大学等進学率の推移

(単位：%)

各年3月	富山県	男子	女子	全国
平成17	50.5	49.0	52.1	47.3
18	51.4	50.2	52.5	49.3
19	53.6	51.5	55.7	51.2
20	54.6	52.0	57.3	52.8
21	54.2	50.5	58.0	53.9
22	55.2	52.5	57.9	54.3
23	54.2	51.1	57.3	53.9
24	53.3	50.7	55.8	53.5
25	52.4	49.6	55.1	53.2
26	51.7	49.1	54.4	53.8
27	52.0	48.6	55.4	54.5

注) 大学等進学率の最高は、平成22年の55.2%であった。
男女別では、男子平成22年52.5%、女子平成21年58.0%であった。

図14 大学等進学率の推移（全国比較）

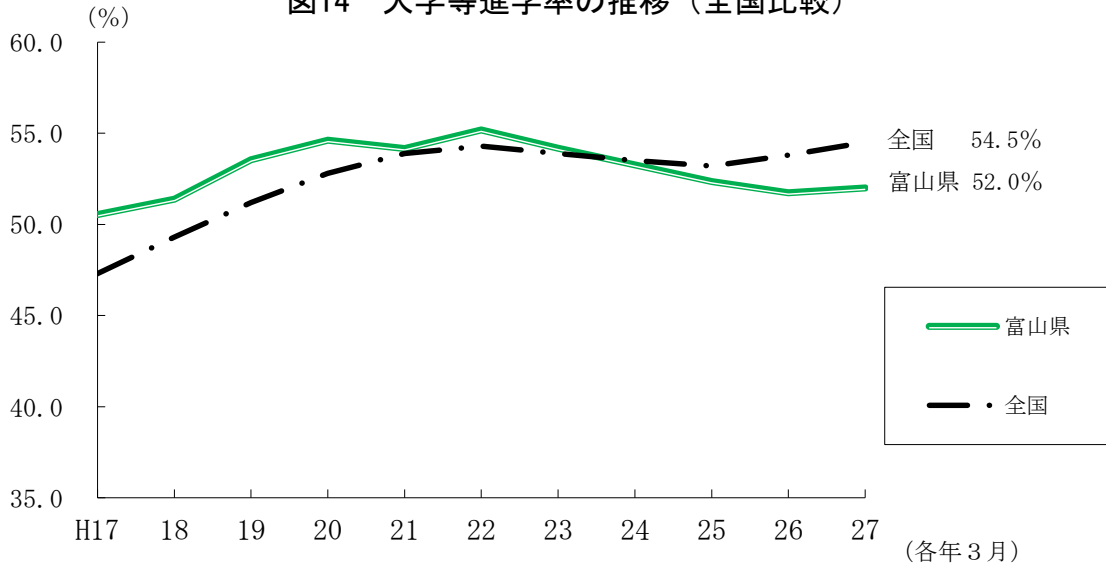


図15 大学等進学率の推移（男女別全国比較）

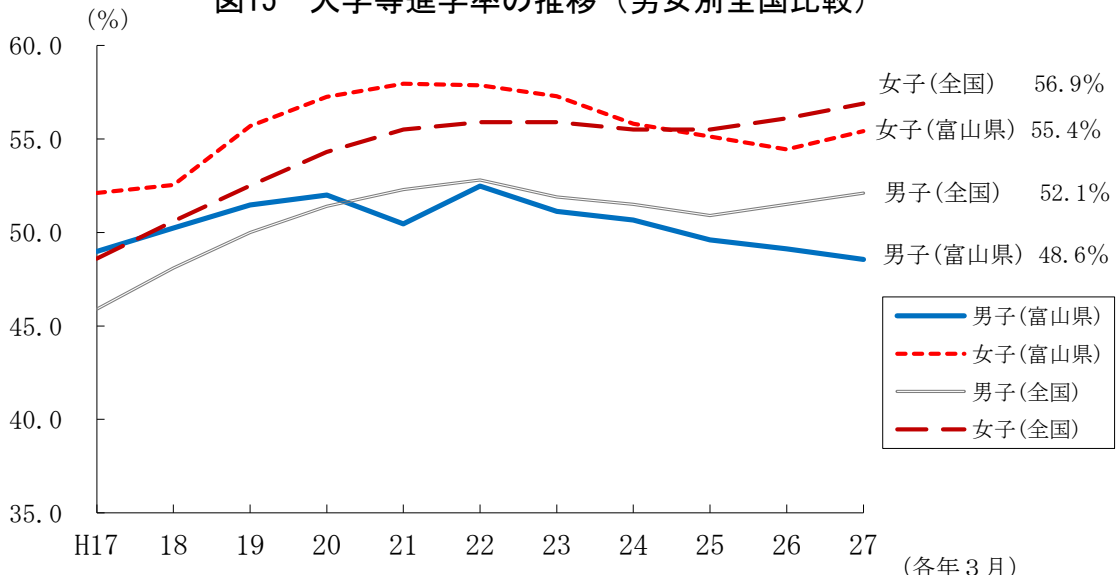
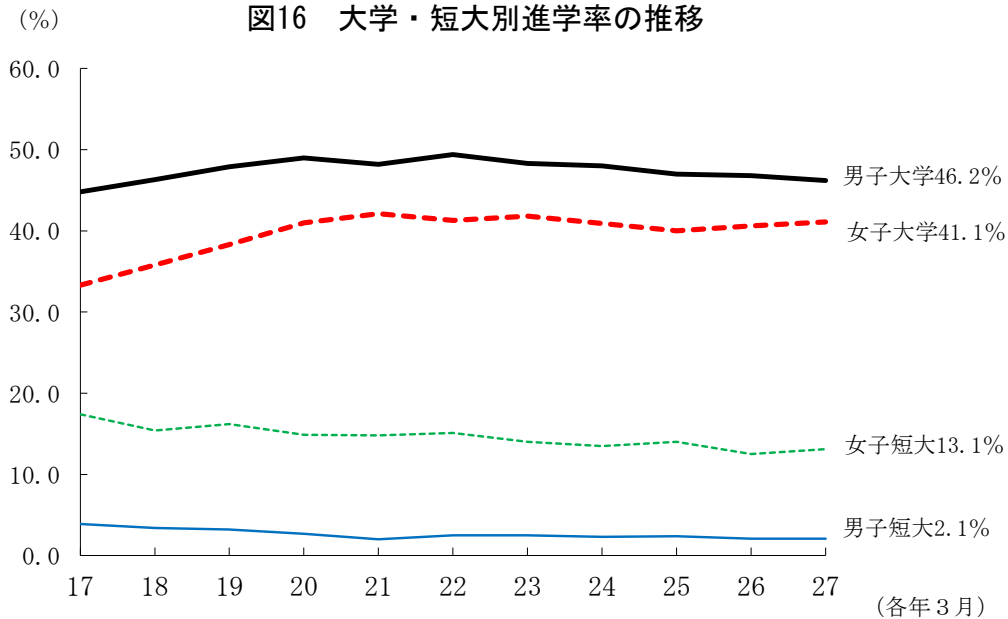


図16 大学・短大別進学率の推移



(4) 就職状況

就職者総数（表28の「E就職者」と「I BCDのうち就職している者（再掲）」（就職進学者）を加えた全就職者数）は2,081人（男子1,342人、女子739人）で、前年度より62人（3.1%）増加している。その内訳は、就職者2,063人、就職進学者18人であった。

就職率は22.2%で、前年度と同率であり、全国の17.8%を上回っている。男女別にみると、男子が28.7%（前年度28.9%）、女子が15.7%（前年度15.3%）となっている。

就職者総数を産業別にみると、「製造業」が1,115人（構成比53.6%）で最も多く、次いで「建設業」が186人（同8.9%）、「卸売業・小売業」が175人（同8.4%）などとなっている。

職業別では、「生産工程従事者」が1,095人（構成比52.6%）で最も多く、次いで「サービス職業従事者」が250人（同12.0%）、「販売従事者」が136人（同6.5%）などとなっている。

就職先を県内・県外別にみると、県内就職者数が1,960人で、県外就職者数の121人を大きく上回っており、県内就職率は94.2%と、前年度より2.1ポイント上昇し、全国第2位（前年度第6位）であった。

県外就職者の都道府県別では、石川県35人、東京都23人、愛知県14人、大阪府13人などとなっている。

（表28、31、図17、18、19、統計表126、127、131、132、133、134）

図17 就職者の産業別割合

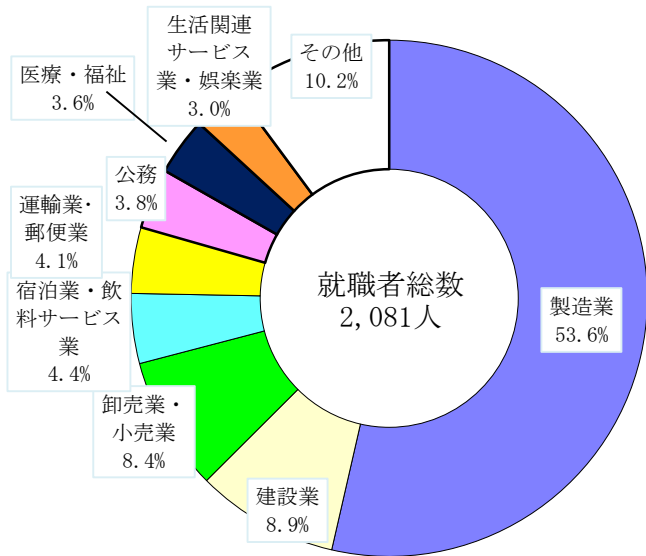


図18 就職者の職業別割合

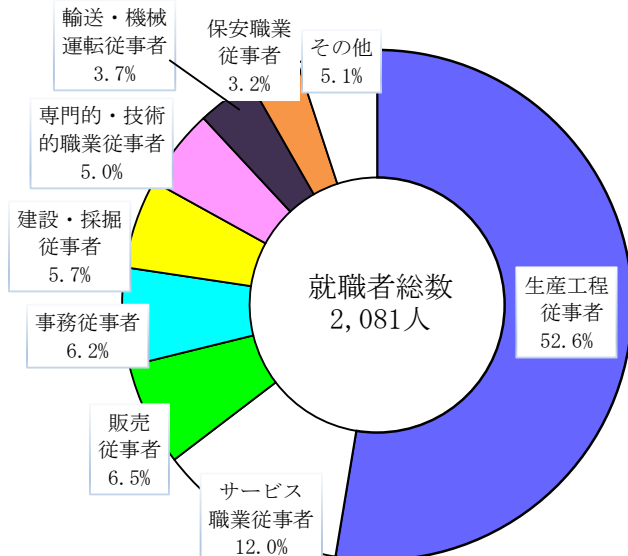
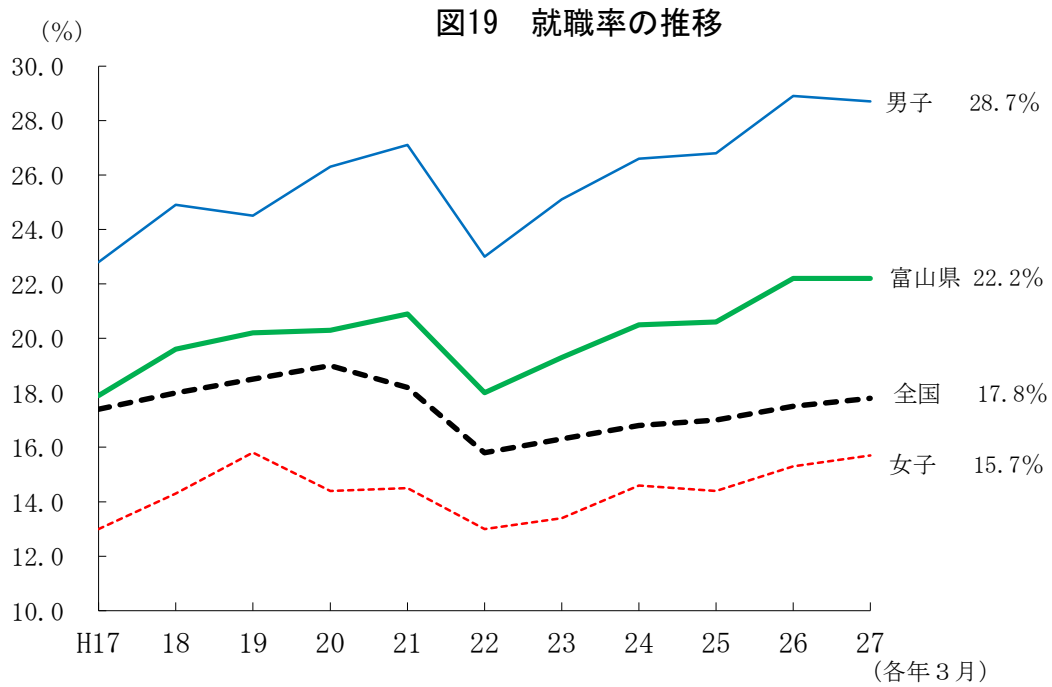


表 31 就職者数及び県内就職率の推移

(単位：人、%)

各年3月	就職者総数	うち県内 就職者	県内就職率
平成17	1,880	1,747	92.9
18	1,955	1,838	94.0
19	2,012	1,882	93.5
20	1,896	1,742	91.9
21	1,877	1,715	91.4
22	1,629	1,502	92.2
23	1,721	1,610	93.6
24	1,802	1,698	94.2
25	1,969	1,857	94.3
26	2,019	1,859	92.1
27	2,081	1,960	94.2



10 特別支援学校（卒業後の状況）

【中学部】

表 32 特別支援学校中学部卒業者の状況別推移

(単位：人、%)

各年 3月	A 卒業生数	B 高等学校 等進学者	C 専修学校 高等課程 進学者	D 専修学校 一般課程 等入学者	E 就職者	F 左記以 外の者	G 不詳 死亡	H BCDのうち 就職してい る者(再掲)	I Fのうち社会 福祉施設等 入所、通所者	J 進学率 B/A	K 就職率 (E+H)/A
平成22	111	108	—	1	—	2	—	—	1	97.3	—
23	96	94	—	—	—	2	—	—	—	97.9	—
24	123	120	—	—	—	3	—	—	2	97.6	—
25	114	114	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
26	104	103	—	—	—	1	—	—	—	99.0	—
27	114	109	—	—	—	5	—	—	5	95.6	—

注) 「D 専修学校一般課程等入学者」とは、専修学校一般課程、各種学校及び公共職業能力開発施設等入学者。

(1) 卒業生数

平成 27 年 3 月の特別支援学校中学部卒業生数は 114 人で、前年度より 10 人 (9.6%) 増加している。

(2) 高等学校等進学者数

高等学校等への進学者数は 109 人で、前年度より 6 人 (5.8%) 増加している。

(3) 高等学校等進学率

高等学校等進学率は 95.6% で、前年度より 3.4 ポイント低下している。

(4) 就職状況

就職者数は 0 人で、前年度と同数である。

(表 32、統計表 125)

【高等部】

表 33 特別支援学校高等部卒業者の状況別推移

(単位：人、%)

各年 3月	A 卒業生数	B 大学等 進学者	C 専修学校 専門課程 進学者	D 専修学校 一般課程 等入学者	E 就職者	F 左記以 外の者	G 不詳 死亡	H BCDのうち 就職してい る者(再掲)	I Fのうち社会 福祉施設等 入所、通所者	J 大学等 進学率 B/A	K 就職率 (E+H)/A
平成22	141	1	—	1	37	102	—	—	81	0.7	26.2
23	136	3	1	—	31	101	—	—	86	2.2	22.8
24	145	3	—	3	35	104	—	—	96	2.1	24.1
25	153	4	1	1	42	105	—	—	86	2.6	27.5
26	147	2	2	—	55	88	—	—	74	1.4	37.4
27	165	4	1	—	45	115	—	—	111	2.4	27.3

注) 「D 専修学校一般課程等入学者」とは、専修学校一般課程、各種学校及び公共職業能力開発施設等入学者。

(1) 卒業生数

平成 27 年 3 月の特別支援学校高等部卒業生数は 165 人で、前年度より 18 人 (12.2%) 増加している。

(2) 大学等進学者数

大学等への進学者数は 4 人で、前年度より 2 人 (100.0%) 増加している。

(3) 大学等進学率

大学等進学率は 2.4% となり、前年度より 1.0 ポイント上昇している。

(4) 就職状況

就職者数は 45 人で、前年度より 10 人 (18.2%) 減少している。

(表 33、統計表 135)